別記様式第8号（別記1の第6の1、別記2の第5、別記3の第5、別記4の第6、別記7の第6の1の（1）関係）

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業（都道府県広域捕獲活動支援事業）鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業及び鳥獣被害防止対策促進支援事業（中山間地域等鳥獣被害防止施設整備事業）の再評価報告（令和2年度～令和4年度報告）

1 被害防止計画の作成数、特徴等
本県では、34市町で被害防止計画が策定されている。各市町は、被害の軽減目標を達成するため、侵入防止柵の整備、被害防止目的の捕獲、緩衝地帯の整備、被害防止研修会等を実施している。

2 事業効果の発現状況
市町による地域住民を主体とした被害防止対策の取組と、それを県が支援したことにより、農作物被害額はピークであった平成21年度から減少傾向にある。

3 被害防止計画の目標達成状況
令和4年度を被害防止計画の目標年度としたものの目標年度を1年延長し、再度事業評価を行なった4事業主体のうち、被害金額又は被害面積で目標を達成した事業主体はなかった。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 （協議会名）	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績 被害金額（千円） 目標値	実績値	達成率	被害面積（a） 目標値	実績値	達成率	事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価 （東部農林事務所案）
三島市有害鳥獣被害対策協議会	三島市	令和2年度～令和5年度	イノシシ ニホンジカ ハクビシン アナグマ サル カラス ヒヨドリ	推進事業	（R2） 発信機7台・受信機1台セット　7セット整備	三島市有害鳥獣被害対策協議会	－	－	・罠用発信機・受信機は罠猟での見回りに係る労力の軽減に大いに貢献している。 ・デジタル簡易無線機はその高出力、デジタル音質、免許不用などの特徴から巻狩りなどのグループ猟の際の複数人との効率的な情報共有を可能としている。 ・くくり罠は主たる加害鳥獣のシカ、イノシシの捕獲に活用している。	1,735	2,300	−528%	185	305	−1100%	●令和5年度の事業内容 〈推進事業〉 ・くくりわな38基を購入 ・発信器10台×6セットを購入 〈緊急捕獲活動支援事業〉 ・イノシシ成獣75頭 ・シカ成獣65頭 ・ハクビシン15頭 ・アナグマ24頭 ・カラス類5羽 （シカ特別対策等事業） ・シカ成獣22頭 軽減目標の被害面積及び被害金額のいずれも達成には至らなかった。 鳥獣全体の捕獲数は概ね横ばいで推移しているが、生息数が増加していると思われる。 昨今の現状評価を踏まえ、令和4年度に改定した被害防止計画で定めた新たな目標達成に向け、従来講じてきた被害防止対策に加え、次に掲げる取組に注力する。 ・農地への鳥獣侵入防止効果の高い防除柵（電気柵）の設置を促進するため、補助制度の周知を図るとともに、適切な設置方法や維持管理手法の指導・助言 ・鳥獣被害対策セミナーを開催し、被害の現状や原因、被害防止に関する正しい知識の浸透	侵入防止柵の設置や捕獲に積極的に取り組んでいることは評価出来る。イノシシの生息数が大きく減少しているとのことだが、被害が作目によっては増えているものもある。猟友会と連携を密にとって被害地での捕獲が進むことを期待する。（静岡県農林技術研究所　森林・林業研究センター　上席研究員　神谷健太）	被害金額、被害面積ともに前年度と変わらず、引続き目標達成はできなかった。今後は、鳥獣の生息域の拡大及び生息数増加に対応し、個体群管理、侵入防止対策及び生息環境管理を組み合わせた総合的な対策に取り組み、被害を縮小するよう努めてほしい。
					（R3） 以下を整備 ・発信機7台・受信機1台セット　3セット ・発信機　10台 ・ﾊｸﾋﾞｼﾝ用箱わな9基 ・くくりわな　110基													
					（R4） 以下を整備 ・くくりわな　85基 ・デジタル簡易無線機　10台													
					（R5） 以下を整備 ・くくりわな38基 ・発信器10台×6セット													
				緊急捕獲活動支援事業	（R2） イノシシ成獣258頭 イノシシ幼獣12頭 シカ成獣80頭 カラス類25羽 ハクビシン12頭	－	－	－	・捕獲従事者から豚熱の影響からか、イノシシの生息数が明らかに減少しているとの報告を受けており、捕獲数も伸び悩んでいる。										
					（R3） イノシシ成獣117頭 イノシシ幼獣3頭 シカ成獣44頭 カラス類12羽 ハクビシン30頭 アナグマ2頭													
					（R4） イノシシ成獣76頭 シカ成獣52頭 カラス類5羽 ハクビシン26頭 アナグマ24頭 ヒヨドリ1羽													
					（R5） イノシシ成獣75頭 シカ成獣65頭 ハクビシン15頭 アナグマ24頭 カラス類5羽													
				シカ特別対策等事業	（R5）シカ成獣22頭	－	－	－	シカ特別対策等事業（国補正事業）を活用しシカ捕獲を推進した。									

御殿場市鳥獣被害防止対策協議会	御殿場市	令和2年度～令和5年度	ニホンジカ イノシシ ハクビシン アナグマ アライグマ タヌキ	推進事業	(R2) 以下を整備 ・くくりわな 10基 ・くくりわな製作用資材 100基 ・狩猟用罠発信機30台 ・センサーカメラ3台 ・小型電動ウインチ3台	御殿場市鳥獣被害防止対策協議会	ー	ー	農作物被害の多くは人家に近い農地で発生しているため、銃による捕獲が困難だったが、わなを整備したことで農地周辺での捕獲活動が強化され、直接的に被害防止につながる捕獲活動が実施できるようになった。 また、埋設穴の設置や狩猟用罠発信機等の整備により、捕獲従事者の負担軽減につながった。 あわせて、鳥獣被害対策のための講習会の開催により、鳥獣被害を未然に防ぐための取組みが行われることが期待される。	3,121	3,786	−91%	357	402	−7%	●令和5年度の事業内容 （推進事業） ・くくりわな 45基の購入 ・電気止刺機 3本の購入 ・電気止刺器（小動物箱わな用） 4本の購入 （緊急捕獲活動支援事業） ・イノシシ成獣66頭 ・イノシシ幼獣1頭 ・シカ成獣563頭 ・ハクビシン14頭 ・アナグマ10頭 ・アライグマ13頭 ・タヌキ17頭 有害鳥獣の生息数、生息範囲が拡大しており、捕獲や防除が一定の効果をあげながらも、広範囲にわたり発生する被害を完全に防ぐことができず、被害防止計画の目標が達成できなかった。 また、神山地区、二子地区ともに電気柵の設置をした箇所は、鳥獣の被害が激減したが、隣接する他の農地が被害を受けることが課題となっている。ほかにも、電気柵設置後の維持管理にも課題が残る。 今後は、「侵入防止柵設置支援」、「捕獲圧の強化」等の支援を継続しながら、「鳥獣を寄せ付けない環境づくり」を推進していく。そのために、御殿場市鳥獣被害対策実施隊員による地域住民への有害鳥獣の防除対策についての指導助言など、予防に重点をおいた対策を強化していく。	柵の設置や捕獲にも取り組まれておりワナや狩猟に係わる事業を重点的実施されているが、農地周辺で加害動物の捕獲を実施するとより効果的であると考える。猟友会と連携を密にとって被害地での捕獲が進むことを期待する。また集落の中のエサ資源を減らし、鳥獣を寄せ付けないようにすることも重要であるため、近隣住民へ更なる意識啓発をを期待したい。（静岡県農林技術研究所　森林・林業研究センター　上席研究員　神谷健太）	被害金額は前年度から微増、被害面積は減少という結果で、引き続き目標達成はできなかったが、国庫を活用し整備した電気柵の整備地区では被害確認されていない等、一定の効果をあげている取組も見られる。 今後、鳥獣の生息域の拡大による被害増加に対応するため、効果をあげている取組は引き続き行いながら、個体群管理、侵入防止対策及び生息環境管理を組み合わせた総合的な対策に取り組み、被害を縮小するよう努めてほしい。
					(R3) 以下を整備 ・くくりわな 25基 ・ドッグマーカー親機5台 ・ドッグマーカー子機3台 ・動物捕獲網 2本													
					(R4) 以下を整備 ・小型獣用箱わな20基 ・動物捕獲用グローブ 5双 ・大型獣用箱わな 2基 ・くくりわな 18基 農家に対する鳥獣被害対策のための講習会開催													
					(R5) ・くくりわな 45基の購入 ・電気止刺機 3本の購入 ・電気止刺器（小動物箱わな用） 4本の購入													
				整備事業	(R2) 侵入防止柵整備 電気柵5段 900m 整備地区 御殿場市神山地区	御殿場市鳥獣被害防止対策協議会	令和3年2月24日	ー	二子地区、神山地区ともに電気柵の設置をした箇所は鳥獣の被害が激減した。									
					(R4) 侵入防止柵整備 電気柵5段 1,522m 整備地区 御殿場市二子かじか沢地区		令和5年3月31日											
				緊急捕獲活動支援事業	(R2) イノシシ成獣161頭 イノシシ幼獣3頭 シカ成獣637頭 ハクビシン23頭	ー	ー	ー	捕獲圧の強化に寄与した。									
					(R3) イノシシ成獣103頭 イノシシ幼獣1頭 シカ成獣595頭 シカ幼獣3頭 ハクビシン11頭 アナグマ18頭 アライグマ9頭 タヌキ10頭													
					(R4) イノシシ成獣60頭 イノシシ幼獣2頭 シカ成獣671頭 シカ幼獣1頭 ハクビシン10頭 アナグマ21頭 アライグマ7頭 タヌキ19頭													
					(R5) イノシシ成獣66頭 イノシシ幼獣1頭 シカ成獣563頭 ハクビシン14頭 アナグマ10頭 アライグマ13頭 タヌキ17頭													

小山町鳥獣被害防止対策協議会	小山町	令和2年度～令和5年度	ニホンジカ イノシシ ハクビシン カラス	推進事業	（R5） ・実施隊活動支援（燃料代の弁償等） ・捕獲確認アプリの導入（導入費及び利用料）	小山町鳥獣被害防止対策協議会	ー	ー	・実施隊による地区内のパトロール活動、くくり罠や箱ワナの点検活動に係る燃料費等を支援。一定数の捕獲実績につながった。 ・捕獲確認アプリを導入し、捕獲確認書類の作成を自動化し、捕獲従事者の事務負担軽減に寄与した。また、機器の捕獲位置情報をもとに、捕獲方法の効率化を図った。	5,604	8,987	−443%	275	444	−445%	●令和5年度の事業内容 （推進事業） ・実施隊活動支援（燃料代の弁償等） ・捕獲確認アプリの導入（導入費及び利用料） （緊急捕獲活動支援事業） ・イノシシ成獣56頭 ・イノシシ幼獣1頭 ・シカ成獣171頭 ・シカ幼獣2頭 軽減目標の被害金額及び被害面積のいずれも達成には至らなかった。昨今の現状評価を踏まえ、令和4年度に見直しを行い新たに被害防止計画を策定している。 新たな計画における目標達成率については十分に達成し問題ないが、引き続き適切な被害防止対策を進めていく。	目標達成には至らなかったが被害額は減少している。生産者が主体となる対策を地域全体で実施できれば更なる減少に繋がっていくと考える。また対策の核となるリーダーを育成することで人の意識を変えていくことが可能かもしれない。侵入防止柵の設置、加害個体の捕獲、集落内の環境整備等と合わせ人材育成にも期待したい。（静岡県農林技術研究所　森林・林業研究センター　上席研究員　神谷健太）	被害防止計画の目標を達成することはできなかったが、被害金額、被害面積ともに令和4年度、令和5年度と概ね減少傾向にあり、一定の効果はあるものと考えられる。効果をあげている電気柵の整備、有害鳥獣の捕獲活動は引き続き行いながら、ニホンジカ等の生息域の拡大に対応するため、勉強会の開催等、生産者自身が農産物を守るための知識習得、意識醸成につながる取組を進め、被害を縮小するよう努めてほしい。
				整備事業	（R3） 侵入防止柵整備 シカ・イノシシ用電気柵5段 L=2,110m 整備地区：小山町用沢	小山町鳥獣被害防止対策協議会	令和4年3月23日	ー	被害の報告がなく、また用沢地区全体としての被害報告も減少していることから、電気柵導入による被害防止効果があったと考えられる。										
				緊急捕獲活動支援事業	（R2） イノシシ成獣205頭 イノシシ幼獣1頭 シカ成獣114頭	ー	ー	ー	ニホンジカの捕獲頭数は、各年度によって差があるが、令和4年度においては、捕獲計画数に沿った捕獲が実施されている。イノシシの捕獲頭数については、減少傾向で推移しているが、被害も減少しており、事業の効果が現れていると考えられる。										
					（R3） イノシシ成獣79頭 イノシシ幼獣6頭 シカ成獣98頭														
					（R4） イノシシ成獣45頭 イノシシ幼獣16頭 シカ成獣148頭 シカ幼獣4頭														
					（R5） イノシシ成獣56頭 イノシシ幼獣1頭 シカ成獣171頭 シカ幼獣2頭														

富士市鳥獣被害防止対策協議会	富士市	令和2年度～令和5年度	サル	推進事業	(R2) ・イノシシ箱わな3基、くくりわな20基、小動物箱わな2基、さる箱わな3基を購入 ・被害防止研修会開催	富士市鳥獣被害防止対策協議会	R2.10	100%	被害防止講習会を開催し、電気柵の設置や使用方法に加え、鳥類による被害も考慮し、新たに防鳥ネットの設置方法を学び、地域住民や実施隊員に対し、幅広い防除策を伝達できた。 GPS首輪発信機と地図システムを利用したサルの行動特性調査を行い、調査結果を捕獲活動に役立てることができた。 また、地域の声を受け、分析結果の報告会を実施し、広く周知することができた。 捕獲用機材の購入とその貸し出しにより、捕獲活動の充実が図られた。	159	238	−338	951	1300	−229	講習会による啓発と機材購入により捕獲活動を強化できた。また、被害金額及び被害面積については、目標を達成することはできなかったが、改善傾向にあると考えられるため、今後も被害防止対策に取り組むとともに、捕獲による頭数の削減を目指す。	被害金額、被害面積ともに、目標が達成されていない獣種が多くある。くくりわなの整備等捕獲に注力されており、シカの捕獲数も増加し、事業の実績と考えるが、今後も被害地での捕獲が進むように猟友会との連携を密にして欲しい。また捕獲のみならず交付金等を活用した柵の設置の推進を期待したい。（静岡県農林技術研究所　森林・林業研究センター上席研究員　神谷健太）	耕作放棄地の増大などにより、愛鷹山系等がある本市では、鳥獣被害は拡大傾向にあるが、前年より被害の減少が見られた。 今後もGIS等を活用した有害鳥獣の捕獲を継続するとともに、防止対策研修会等の開催や、被害の軽減に直結する防護柵等の導入、生息環境の管理をさらに進めていく必要がある。 なお、再評価において、被害の軽減目標の達成率が再び70%未満であるため、被害防止計画の目標を見直す必要がある。
			イノシシ		(R3) ・イノシシ箱わな3基、くくりわな8基、さる箱わな8基購入 ・被害防止研修会開催		R3.12	70%		739	831	−12	1226	1510	−108			
			ニホンジカ		(R4) ・イノシシ箱わなを3基、くくりわな15基、小動物箱わなを3基、さる箱わなを基購入 ・被害防止研修会開催		R5.2	56%		480	673	−257	1282.4	1580	−109			
			ハクビシン・アライグマ・アナグマ		(R5) ・くくりわな50基購入 ・被害防止研修会開催 ・GISを用いたサル生息調査		R6.1	100%		844	781	167	948	729	308			
			カラス	緊急捕獲活動支援事業	(R2) ニホンジカ：194、イノシシ：67、サル：3、ハクビシン・アライグマ：19、カラス：58、ヒヨドリ：0	-	-	-	捕獲事業に取り組むことにより、野生鳥獣の増加数を抑制し、特に被害面積の増加を抑制した。	905	770	235	850	612	353			
			ヒヨドリ		(R3) ニホンジカ：396、イノシシ：18、サル：6、ハクビシン・アライグマ：16、カラス：60、ヒヨドリ：2					1337	1876	−261	1663	2011	−88			
			合計		(R4) ニホンジカ：132、イノシシ：63、サル：6、ハクビシン・アライグマ：20、カラス：53、ヒヨドリ：1					4464	5169	−41	6920.4	7742	−6			
					(R5) ニホンジカ：57、イノシシ：53、サル：2、アナグマ：5、アライグマ：11、ハクビシン：8													

注1：被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。
2：都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。
3：事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。
4：「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。
5：鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況、都道府県における点検・指導状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。

5　都道府県による総合的評価

各市町では侵入防止柵の設置や捕獲等、積極的に対策に取り組んでいる。目標達成には至らなかったが、引き続き地域の実情に応じた対策に努めていただき、農作物被害額の減少を推進したい。

別記様式第8号関係様式

鳥獣被害防止施設等設置後の被害状況等について

事業実施主体名	市町村名	地区名	竣工年月日	侵入防止柵の種類・設置距離	事業費（円）	国費（円）	被害金額（円） 被害面積（m^2） 被害量（kg）	被害が生じた場合の要因と事業実施主体等が講じた対応策	事業実施主体等が講じた設置にかかる指導内容	事業実施主体等が行っている維持管理方法	事業実施主体等における維持管理状況	都道府県における点検・指導状況	その他
御殿場市鳥獣被害防止対策協議会	御殿場市	御殿場市神山地区	令和3年2月24日	イノシシ、ニホンジカ用電気柵５段 900m	490,292	490,292	設置後被害なし		施工開始日に納入業者に施工方法の説明・指導を依頼	神山地区構成員による現地での目視での確認	維持管理等に係る協定に基づき、全て適切に管理されている	毎年市町に対して交付金に係る検査を行い、侵入防止柵の状況について確認し、必要があれば指導を行っている	
御殿場市鳥獣被害防止対策協議会	御殿場市	御殿場市二子かじか沢地区	令和5年3月31日	イノシシ、ニホンジカ用電気柵５段 1,522m	935,000	935,000	設置後被害なし		アースの埋設処理 点検確認作業の実施 施行場所近隣での罠設置等	二子かじか沢１地区構成員による現地での目視での確認	鳥獣被害防止施設（電気柵一式）の維持管理等に係る協定書に基づき、全て適切に管理されている	毎年市町に対して交付金に係る検査を行い、侵入防止柵の状況について確認し、必要があれば指導を行っている	（事業費内訳） 国R4当初 417,758円 国R3繰越 517,242円
小山町鳥獣被害防止対策協議会	小山町	小山町用沢	令和4年3月23日	シカ・イノシシ用電気柵５段 L＝2,110m	1,361,727	1,361,727	収穫に影響を与える被害なし	－	侵入防止策の効果が最大限発揮されるよう適切な設置を指導した	維持管理等について、当該部農会と協定を締結し、部農会にて管理を行っている	当該部農会と協定を締結し、部農会にて管理を行っている	毎年市町に対して交付金に係る検査を行い、侵入防止柵の状況について確認し、必要があれば指導を行っている	